

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	534 魅力ある研究学園都市地域の推進事業							
予算科目	01-080401-23					担当部課	都市計画部学園地区市街地振興室	
市長公約	65	117	118	120	132	係名		
戦略プラン	I-3	1	1	科学技術を取り入れたまちづくりの推進			新規・継続	継続
	I-3	1	2	緑豊かな市街地創出に向けた街並み誘導の			事業分類	自治事務（任意）
	I-3	1	3	パブリックスペースを活用したまちの魅力			事業体制	一部委託
個別計画	新たなつくばのグランドデザイン、研究学園地区まちづくりビジョン、中心市街地まちづくりヴィジョン						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、企業、教育・研究機関、来街者 等
目的	緑豊かなゆとりある都市環境を継承しつつ、社会情勢の変化等への対応やつくばならではの自然と科学技術が融合した都市環境の形成を図り、つくばならではの街並みや体験を創出する。
概要 (取組内容)	研究学園都市地域内で土地利用転換が見込まれる国家公務員宿舎跡地等については、地区計画や無電柱化条例等を活用し、緑豊かな市街地創出するまちづくりを推進する。また、つくばセンター広場の維持管理のほか、つくばの顔となるつくば駅周辺については、パブリックスペース活用や科学技術を取り入れた取組、エリアマネジメントの推進により、つくばらしさを感じられる場を創出し、都市の魅力を高めていく。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	76,935	3,010,085	114,485	
	決算額	(千円) 12,757	22,211	75,961	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 12,757	22,211	70,913	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	5,048	0	0
人件費	人件費計	(千円) 24,080	36,870	44,458	41,123	41,123	
	内訳	正職員従事割合	(人) 3.00	5.00	6.00	5.00	5.00
		正職員時間外勤務	(時間) 1,172.00	1,200.00	1,490.08	2,901.00	2,901.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報紙等での情報発信
企画・立案、計画	ワークショップ、懇談会 等
実行	ホームページ
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	つくば駅周辺を月 1～2 回以上訪れる割合 (%)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0	68.5
	実績	57.3	57.3	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば市民意識調査において、駅周辺を訪れる回数が「ほぼ毎日」から「月 1, 2 回程度」までの割合 2 年に1度の調査のため、調査していない年は前年度の数値とする。(H30から指標として設定)						

2	指標名	実証実験利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	135,450.0	142,222.5	149,333.6	156,800.3	164,640.3	172,872.3
	実績	148,493.0	19,241.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし
成果	国家公務員宿舎跡地について住宅のみでない機能の誘導に向け、土地所有者の財務省との調整を実施し、誘導手法等について具体的に調整を実施した。また、ソトカフェ等によるパブリックスペースの活用を実施し、魅力ある空間を創出した。つくばセンタービルは、基本設計を実施し、リニューアルに向けた具体的計画を検討した。また、4月1日エリアマネジメント団体設立に向けた各種調整等を実施した。
課題	業務 4月1日にエリアマネジメント団体が設立されることから、団体と連携した魅力づくりをさらに進める必要がある。
	組織、予算等 中心市街地には多くの公共施設やインフラが整備されており、更新時期に差し掛かっている。まちの魅力向上にあたっては、リニューアル等を実施する必要があるが、多くの予算を要する。
改善目標	国家公務員宿舎跡地については、財務省と密に連携、調整することにより、課題解決を図る。エリアマネジメント団体と連携した取り組みについては、団体と定期的に意見交換を行い、まちに必要な取り組みを検討し、官民が連携した事業化を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	市民からにぎわい創出に向けた意見が多く寄せられていることやつくばセンタービルリニューアル等の既存施設の改変等を行っていく必要があるため。